

県民のみなさまへ

県民の皆さまには、平素から赤十字事業の推進に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活や働き方などに大きな影響と変化をもたらしました。日本赤十字社は、その発生初期から、日赤病院での感染者の受け入れ、安全対策を施した献血者の確保など総力をあげて取り組んできました。

海外においては、ウクライナにおける紛争、トルコ・シリアにおける大地震など大規模な人道危機が発生しています。世界の192カ国の赤十字社と連携し、赤十字の基本原則に従い人道的諸活動を行っているところです。

一方で、国内における自然災害は、近年、頻発化・激甚化しており、三重県支部では、大規模災害時における救護体制の整備や血液事業の継続が喫緊の課題となっています。これらの課題に対応するため三重県支部社屋と三重県赤十字血液センターの移転整備を津市あいつ台で進めており、三重県における赤十字活動の新しい拠点が令和6年夏に誕生する予定です。

今後は、この新しい拠点が県民の期待に応え、県民から愛され、親しまれる場所となるよう、利活用面からの検討をさらに進めていきます。

これら医療事業、血液事業、国際活動、災害救護活動のほか、講習会事業、赤十字ボランティア、青少年赤十字事業などを加え、9つの赤十字事業について全力で取り組んでまいります。

毎年5月は、1901年に第1回ノーベル平和賞を受賞した赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日(5月8日)にちなみ、赤十字活動を普及するための「赤十字運動月間」としています。

赤十字活動は、皆さまからお寄せいただくご支援により支えられています。

皆さまには、本年も温かく力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社三重県支部 支部長 一見 勝之



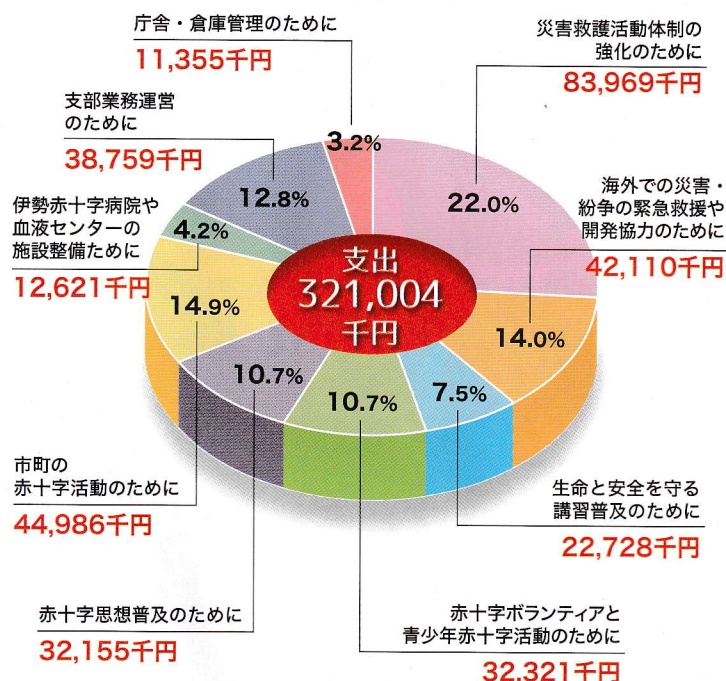
皆さまからのご支援の使い道



令和5年度事業計画(予算)

収入合計 321,004千円

赤十字活動資金収入 282,000千円 その他の収入 39,004千円



●赤十字病院および血液センターは施設ごとの特別会計となっているためこの予算には含めておりません。
●災害時における受援体制の整備などを含めた災害機能強化のための社屋移転整備費用237,669千円については、施設整備準備資金積立金より充当するため含めておりません。

「もしも」に「備える」(防災セミナー・講習のご案内)



赤十字防災セミナー ～「災害」に備える～

三重県支部では令和5年度から防災セミナーを開催します。次の3つの項目を自由に組み合わせて行います。

災害への備え

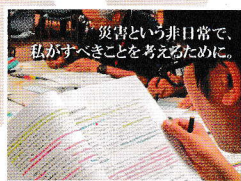
地震・津波・風水害に対する平時の備え。

災害エスノグラフィー

被災した人々のインタビュー記事で災害の追体験。

災害図上訓練(DIG)

地域の防災マップの作成を通じて…



赤十字講習 ～「事故や病気」に備える～

4つの講習も引き続き開催します。講習時間は1時間から。

救急法

心肺蘇生とAED
骨折やけがの手当 など

幼児安全法

子どもへの心肺蘇生とAED
子どもに対するけがの手当 など

水上安全法

着衣泳
水の事故への対応 など

健康生活支援

高齢者が元気に暮らすための生活習慣、トレーニング など



■自治会、町内会には原則無料で開催させていただきます。オンラインでも受講できます。詳しくは、三重県支部へお電話いただくか、ホームページ等をご覧ください。

日本赤十字社 三重県支部
Japanese Red Cross Society

〒514-0004 津市栄町1丁目891番地 TEL 059-227-4145 FAX 059-227-6245
<https://www.jrc.or.jp/chapter/mie/>

赤十字施設

伊勢赤十字病院

〒516-8512 伊勢市船江1丁目471番2

TEL 0596-28-2171(代表)

三重県赤十字血液センター

〒514-0003 津市桜橋2丁目191番地

TEL 059-229-3580

四日市献血ルーム「サンセリテ」

〒510-0075 四日市市安島1-3-31 近鉄四日市駅前「トナリエ四日市」5階

TEL (0120) 39-5863

伊勢献血ルーム「ハートワン」

〒516-0008 伊勢市船江1丁目471-1 ミタス伊勢内

TEL (0120) 25-7821